

簡易プラネ体験

この年で初めての太田

5月15日に四日市ドームで「四日市こどもまつり」が開催された。天文関係では太陽観測とプラネが出店している。太陽観測については四日市通信VOL.1にて紹介済ではあるがここでも少しだけ紹介する。

【太陽観測】

四日市市が所有する移動天文車「きらら号」はGOTOの20cmクーデ式を備えており、市民の要望があればどこへでも無料で参上する優れたものであり、一家に一台欲しいところである。今年は車内には入らなかった。車外では望遠鏡による黒点とプロミネンス観察をしている。SOLARMAXが今年も来ていた。昨年はPORTAに搭載されていたが、今年はEM200にグレードアップしていた。黒点が無く活発ではないようだったのであまり期待はしていなかったが、可愛いプロミネンスを1ヶ所見る事ができた。黒点が皆無に近かったこともあり、可視光の望遠鏡には全く興味がなかった。

Meadeに金星が導入されていたので見ると、太陽の向こう側に位置しているため小さく丸くなっているのが分かった。



妻と子供を替えた？ ...他人です。



今年は紙に投影する方式のようだ



【簡易プラネ】

昨年もあったが予約制だったので面倒で入らなかったが今年はチャレンジした。

ドームは約3.5mのエア式である。写真右下に座っている人の首付近に見えるオレンジ色のものがコンプレッサである。手前の小さい丸い部分から出入りする。室内は想像以上に暗くなり、目が慣れるまで時間がかかった。

使用機材はGOTOのNEXという製品であり、星数は少なくホーム用と変わらない程度と感じた。星座絵を重ねることができ、四角い黒いものがプラネの横に見えるがこれが絵のカードであり、四角錐型に見えるものがスキャナになっていてペンライト型のもので投影するようになっている。解説はもちろん超素人向けであり興味は湧かなかったが、ミザールの二重星は立ち上がっても分解して見えなくらい目が悪かったのは私だけのようだった。早く名古屋市科学館の世界一を見に行かなければ。



以上